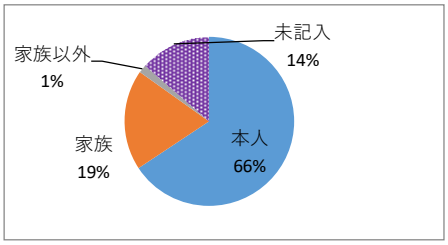
資料８

障がい福祉計画アンケート集計結果(18歳以上)

発送数　500 件　返送率　51.4%
返送数　257 件

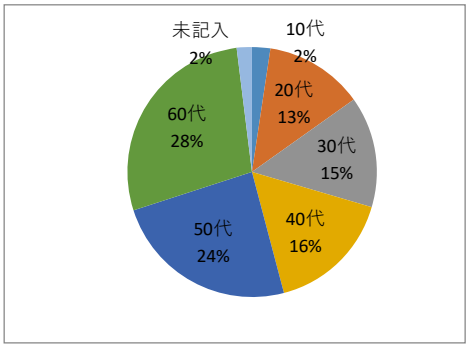
回答者内訳	人数	割合
本人	169	65.7%
家族	49	19.1%
家族以外	4	1.6%
未記入	35	13.6%
合計	257	100.0%



１　対象者の性別・年齢・ご家族などについて

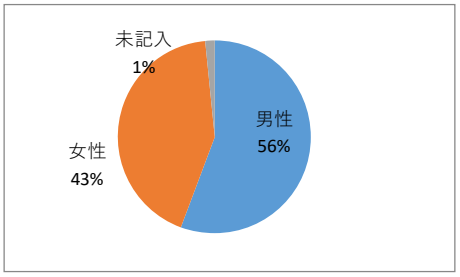
1-1　年齢

年代	人数	割合
10代	6	2.3%
20代	33	12.8%
30代	37	14.4%
40代	42	16.4%
50代	62	24.1%
60代	72	28.0%
未記入	5	2.0%
合計	257	100.0%



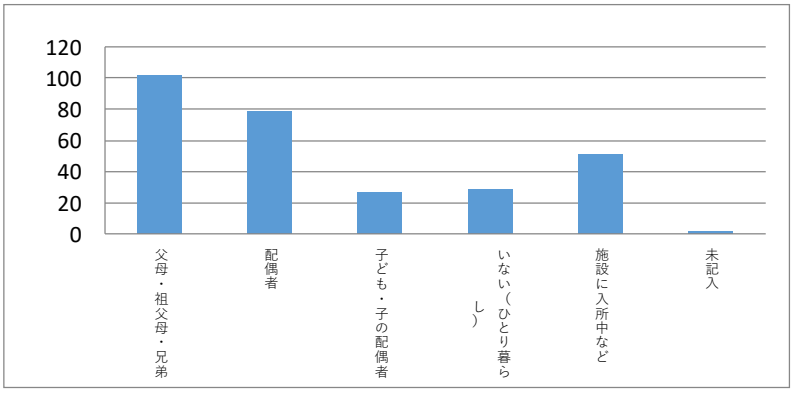
1-2　性別

性別	人数	割合
男性	143	55.6%
女性	110	42.8%
未記入	4	1.6%
合計	257	100.0%



1-3　同居人（複数回答可）

同居人	人数	割合
父母・祖父母・兄弟	102	39.7%
配偶者	79	30.7%
子ども・子の配偶者	27	10.5%
いない（ひとり暮らし）	29	11.3%
施設に入所中など	51	19.8%
未記入	2	0.8%

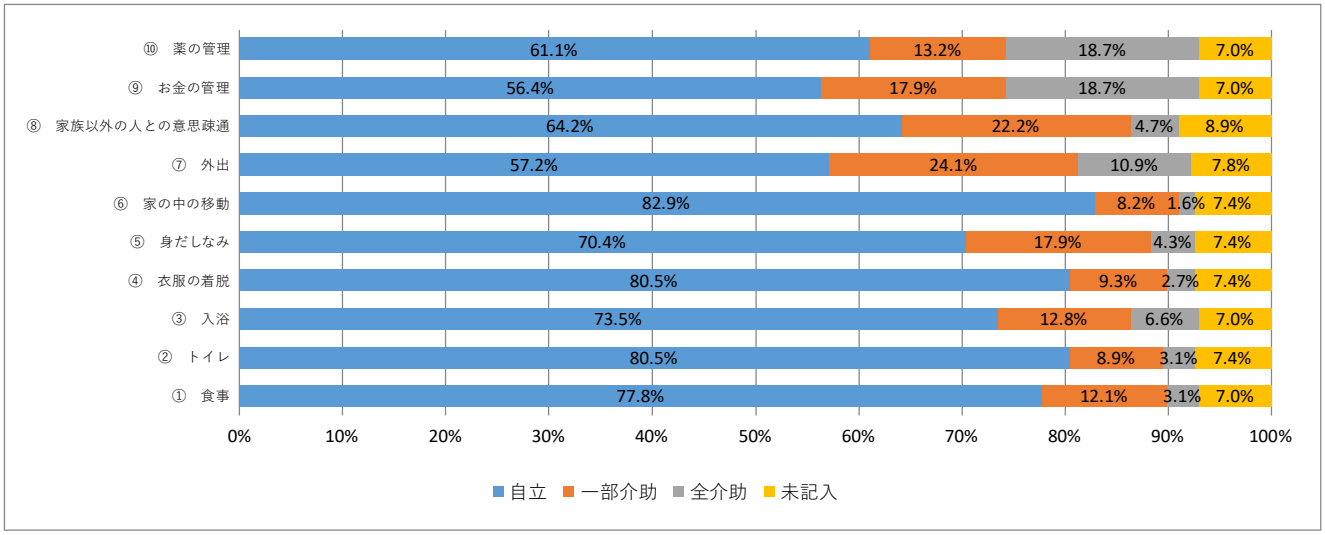


回答者のうち、５０代～６０代の人で約５０％を超える割合となっている。男女比は、男性が約６０％、女性が４０％となっている。また、同居人がなく、ひとり暮らしをしている人が２９人おり、３０代で３人、４０代で２人、５０代で１１人、６０代で１３人という結果であった。

1-4　日常生活の自立度

項目	自立	割合	一部介助	割合	全介助	割合	未記入	割合
①　食事	200	77.8%	31	12.1%	8	3.1%	18	7.0%
②　トイレ	207	80.5%	23	8.9%	8	3.1%	19	7.4%
③　入浴	189	73.5%	33	12.8%	17	6.6%	18	7.0%
④　衣服の着脱	207	80.5%	24	9.3%	7	2.7%	19	7.4%
⑤　身だしなみ	181	70.4%	46	17.9%	11	4.3%	19	7.4%
⑥　家の中の移動	213	82.9%	21	8.2%	4	1.6%	19	7.4%
⑦　外出	147	57.2%	62	24.1%	28	10.9%	20	7.8%
⑧　家族以外の人との意思疎通	165	64.2%	57	22.2%	12	4.7%	23	8.9%
⑨　お金の管理	145	56.4%	46	17.9%	48	18.7%	18	7.0%
⑩　薬の管理	157	61.1%	34	13.2%	48	18.7%	18	7.0%

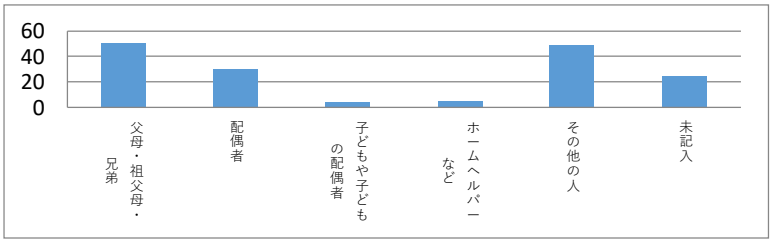
全て自立していると回答した人は１１０人で、何らかの支援が必要な人は、これらの数を引いた１４７人となる。
また、自立していると回答した人の割合の低い項目が、「お金の管理」「外出」「薬の管理」で、日常生活におけ



1-5　介助者(複数回答可)

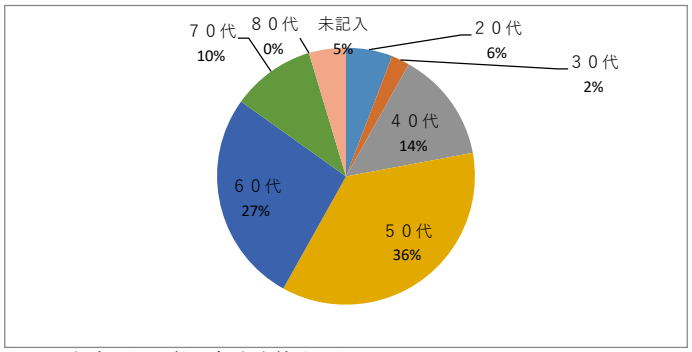
介助者	人数	割合
父母･祖父母･兄弟	51	34.7%
配偶者	29	19.7%
子どもや子どもの配偶者	4	2.7%
ホームヘルパーなど	5	3.4%
その他の人	49	33.3%
未記入	24	16.3%

＊何らかの支援が必要な147人の回答から、割合を算出した。



1-6①　主な介助者の年齢等

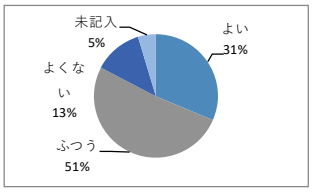
年代	人数	割合
20代	5	5.8%
30代	2	2.3%
40代	12	14.0%
50代	31	36.0%
60代	23	26.7%
70代	9	10.5%
80代	0	0.0%
未記入	4	4.7%
合計	86	100.0%



＊何らかの支援が必要な147人から主介護者が家族以外と回答した61人を除いた人数で割合を算出した。

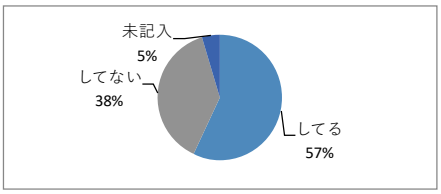
1-6②　介助者の健康状態

	よい	ふつう	よくない	未記入
人数	27	44	11	4
割合	31.4%	51.2%	12.8%	4.6%



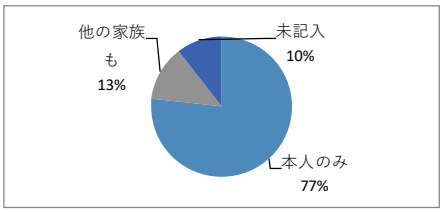
1-6③　介助者の仕事

	してる	してない	未記入
人数	49	33	4
割合	57.0%	38.4%	4.6%



1-6④　他の家族の介助もしていますか

	本人のみ	他の家族も	未記入
人数	66	11	9
割合	76.7%	12.8%	10.5%

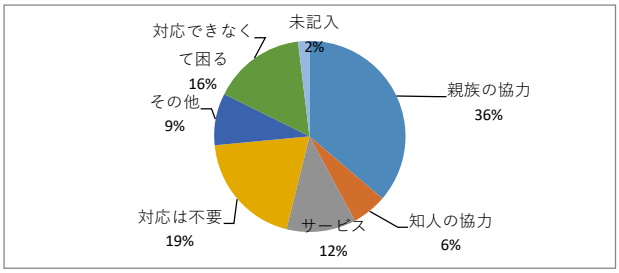


主な介護者の年齢は、５０～６０代で約６割を占め、７０代と回答した人も約1割いる状況にあり、介護者が高齢化している状況がうかがえる。

また、主な介護者の健康状態は、８割以上の人に大きな問題はないが、仕事をしながら介助をしている人が６割程、複数の家族の介助をしている人も１割程いることから、負担感を持つ可能性のある人が一定数いることがわかる。

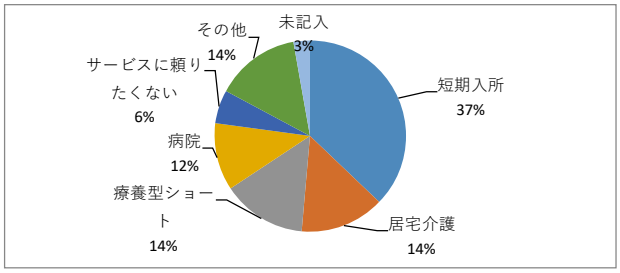
1-7　介助者の急病や急用の際、どのように対応していますか（複数回答可）

	人数	割合
親族の協力	37	36.3%
知人の協力	6	5.9%
サービス	12	11.8%
対応は不要	20	19.6%
その他	9	8.8%
対応できなくて困る	16	15.7%
未記入	2	2.0%



1-8　対応できなくて困るときに使えると助かるサービス（複数回答可）

	人数	割合
短期入所	13	37.1%
居宅介護	5	14.3%
療養型ショート	5	14.3%
病院	4	11.4%
サービスに頼りたくない	2	5.7%
その他	5	14.3%
未記入	1	2.9%

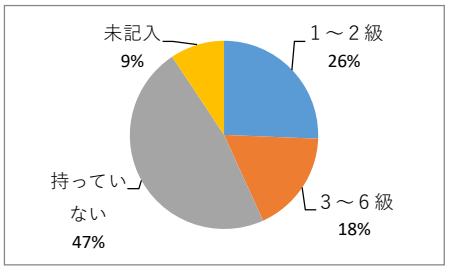


介護者の急病や急用の際であっても、多くの人は親族の協力などにより対応できているようであるが、対応できなくて困ると回答した人が１６％程度おり、短期入所をはじめとする緊急時の受入先を確保するための働きかけが必要である。

２ あなたの障がいの状況について

2-1 身体障害者手帳の有無

身体障害者手帳	人数	割合
１～2級	66	25.7%
３～6級	45	17.5%
持っていない	122	47.5%
未記入	24	9.3%
合計	257	100.0%

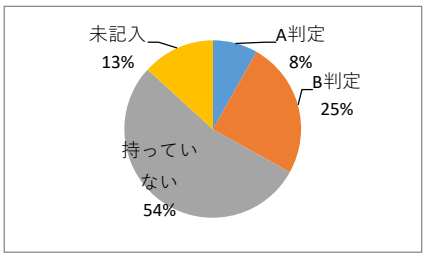


2-2 主たる障がい

主たる障がい	視覚	聴覚	肢体不自由	平衡機能	音声・言語	内部障がい	未記入
人数	5	16	43	7	2	29	9

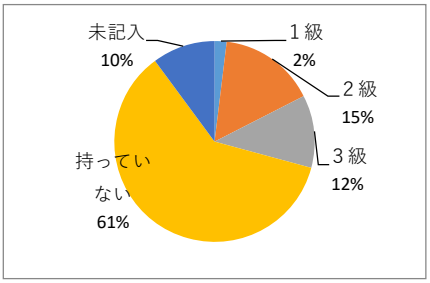
2-3 療育手帳の有無

療育手帳	人数	割合
A判定	21	8.2%
B判定	64	24.9%
持っていない	138	53.7%
未記入	34	13.2%
合計	257	100.0%



2-4 精神保健福祉手帳の有無

精神保健福祉手帳	人数	割合
１級	5	1.9%
２級	40	15.6%
３級	30	11.7%
持っていない	156	60.7%
未記入	26	10.1%
合計	257	100.0%



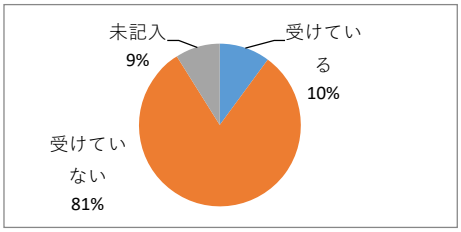
身体障害者手帳を持っていると回答した人は１１１人（回答者の４３％）、療育手帳は８５人（回答者の３３％）、精神保健福祉手帳は７５人（回答者の２９％）であった。

また、身体障害者手帳と療育手帳の両方を持っていると回答した人は１１人、身体障害者手帳と精神保健福祉手帳は５人、療育手帳と精神保健福祉手帳は２人、身体障害者手帳と療育手帳、精神保健福祉手帳の３つの手帳を持っていると回

2-5 難病の認定

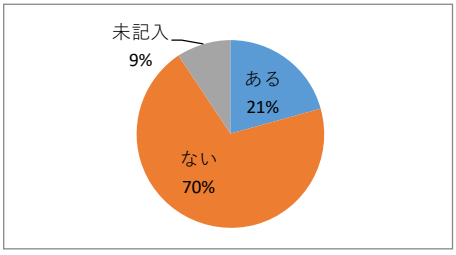
難病の認定	人数	割合
受けている	26	10.1%
受けていない	208	80.9%
未記入	23	9.0%
合計	257	100.0%

難病の認定を受けてると回答した２６人のうち、いずれの手帳も所持してい



2-6 発達障がいの有無

発達障がい	人数	割合
ある	53	20.6%
ない	180	70.0%
未記入	24	9.3%
合計	257	100.0%

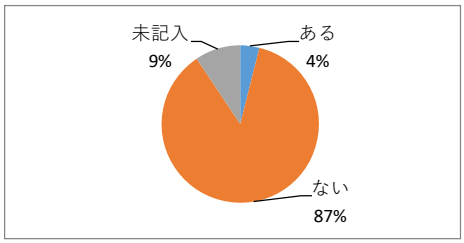


発達障がいの診断を受けている５３人のうち、身体障害者手帳を持っている人が２人、療育手帳が２８人、精神保健福祉手帳が７人、身体障害者手帳と療育手帳の両方を持っている人が４人、療育手帳と精神保健福祉手

2-7　高次脳機能障がいの有無

高次脳機能障がい	人数	割合
ある	10	3.9%
ない	223	86.8%
未記入	24	9.3%
合計	257	100.0%

高次脳機能障がいと診断されている１０人のうち、身体障害者手帳を持っている人が７人、療育手帳が１人で、い



2-8　高次脳機能障がいの関連障がい（複数回答可）

関連障がい	視覚	聴覚	肢体不自由	内部障がい	未記入
人数	2	0	6	2	1
割合	28.6%	0.0%	85.7%	28.6%	14.3%

2-9　医療的ケア

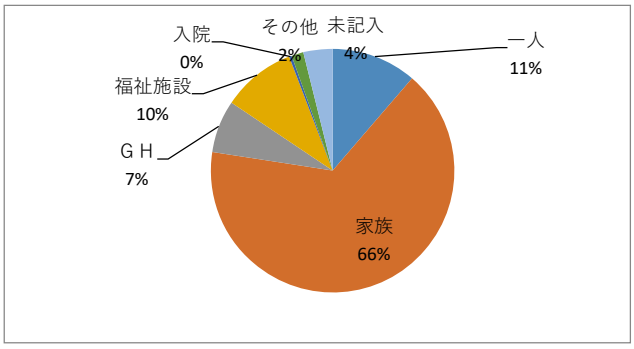
医療的ケア	気管切開	人工呼吸	吸入	吸引	経鼻栄養	IVH
人数	2	1	3	3	3	0
割合	0.8%	0.4%	1.2%	1.2%	1.2%	0.0%

医療的ケア	在宅酸素	透析	道尿・留カテ	ストマ	その他	未記入
人数	2	9	5	4	13	0
割合	0.8%	3.5%	1.9%	1.6%	5.1%	0.0%

3　住まいや暮らしについて

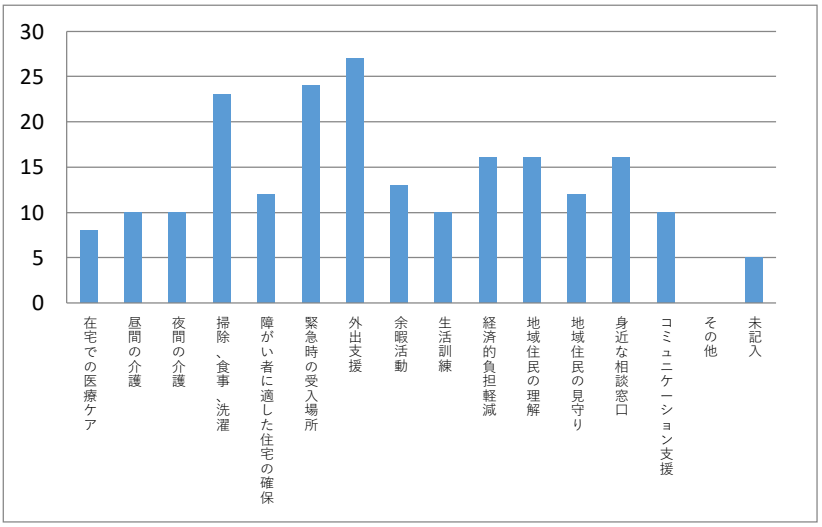
3-1　暮らしの形態

	人数	割合
一人	29	11.3%
家族	170	66.1%
GH	18	7.0%
福祉施設	25	9.7%
入院	1	0.4%
その他	4	1.6%
未記入	10	3.9%
合計	257	100.0%



3-2　必要な地域での支援(複数回答可)

	人数	割合
在宅での医療ケア	8	3.1%
昼間の介護	10	3.9%
夜間の介護	10	3.9%
掃除、食事、洗濯	23	8.9%
障がい者に適した住宅の確保	12	4.7%
緊急時の受入場所	24	9.3%
外出支援	27	10.5%
余暇活動	13	5.1%
生活訓練	10	3.9%
経済的負担軽減	16	6.2%
地域住民の理解	16	6.2%
地域住民の見守り	12	4.7%
身近な相談窓口	16	6.2%
コミュニケーション支援	10	3.9%
その他	0	0.0%
未記入	5	1.9%



家族と暮らしていると回答した１７０人のうち、身体障害者手帳を持っている人が６８人（４０％）、療育手帳が３５人（２１％）、精神保健福祉手帳が２３人（１４％）であった。

また、身体障害者手帳と療育手帳の両方を持っている人が７人、身体障害者手帳と精神保健福祉手帳の両方を持っている人が３人、療育手帳と精神保健福祉手帳の両方を持っている人が２人、いずれの手帳も所持している人が３人、いずれの手帳も所持していない人が２９人であった。

施設に入所している人が地域生活に移行するために必要な支援として、「外出支援」「緊急時の受入場所」「掃除、食

3-3　将来どこで暮らしたいか

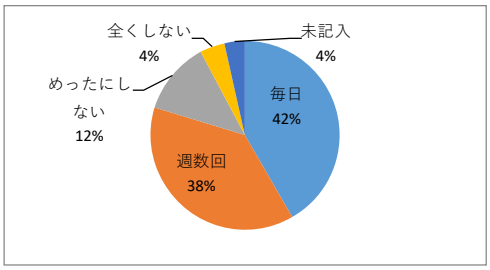
	人数	割合
今のまま	90	35.0%
GH	26	10.1%
福祉施設	19	7.4%
家族と一緒	63	24.5%
一人暮らし	28	10.9%
その他	8	3.1%
未記入	23	9.0%
合計	257	100.0%

身近な場所での生活を求める人がグループホームを希望する人も含めると約８０％程度いることから、3-2「必要な地域での支援」の結果を参考に、地域生活に移行するためのサービスの充実を図る必要がある。また、その他には

4　日中活動について

4-1　1週間にどの程度外出するか

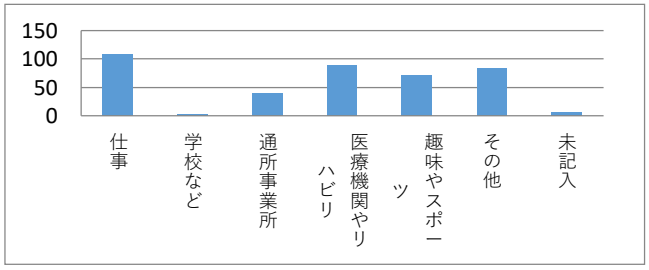
	毎日	週数回	めったにしない	全くしない	未記入
人数	107	98	32	11	9
割合	41.6%	38.1%	12.5%	4.3%	3.5%



4-2　外出目的(複数回答可)

	人数	割合
仕事	108	45.6%
学校など	3	1.3%
通所事業所	40	16.9%
医療機関やリハビリ	89	37.6%
趣味やスポーツ	71	30.0%
その他	84	35.4%
未記入	6	2.5%

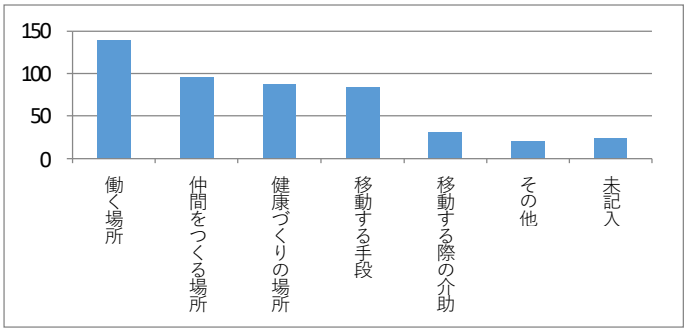
＊外出「全くしない」「未記入」を除いた237人の回答から割合を算出した。



その他には「買い物」「散髪」「散歩」などの記載があった。

4-3 充実した日中の時間を過ごすために必要だと思うこと(複数回答可)

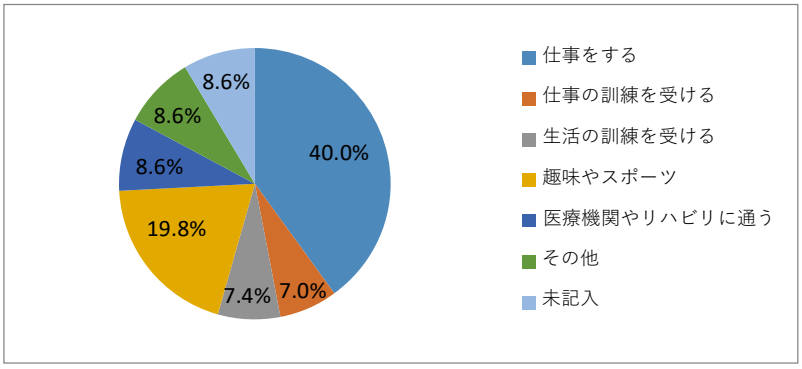
	人数	割合
働く場所	139	28.8%
仲間をつくる場所	96	19.9%
健康づくりの場所	87	18.1%
移動する手段	84	17.4%
移動する際の介助	31	6.4%
その他	21	4.4%
未記入	24	5.0%



その他には「静かで安心できる場所」「急な時でも手話通訳者が呼べること」「見守り、付き添い

4-4　将来どのような活動をしていたいか

	人数	割合
仕事をする	103	40.0%
仕事の訓練を受ける	18	7.0%
生活の訓練を受ける	19	7.4%
趣味やスポーツ	51	19.8%
医療機関やリハビリに通う	22	8.6%
その他	22	8.6%
未記入	22	8.6%

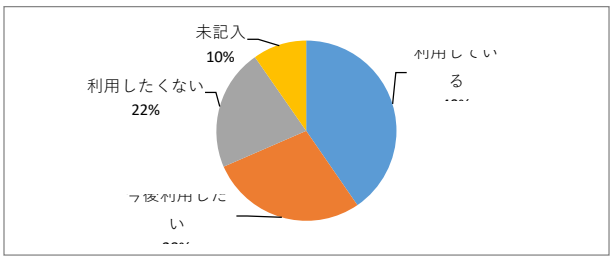


将来の希望としては、訓練も含めると仕事を希望する人が約４７％で一番多く、次いで、趣味やスポーツ活動を希望する人が約２０％という状況にあり、就労支援サービスの充実とともに、余暇活動などの場の充実に向けた検討

5　障がい福祉サービス等の利用について

5-1　サービス利用

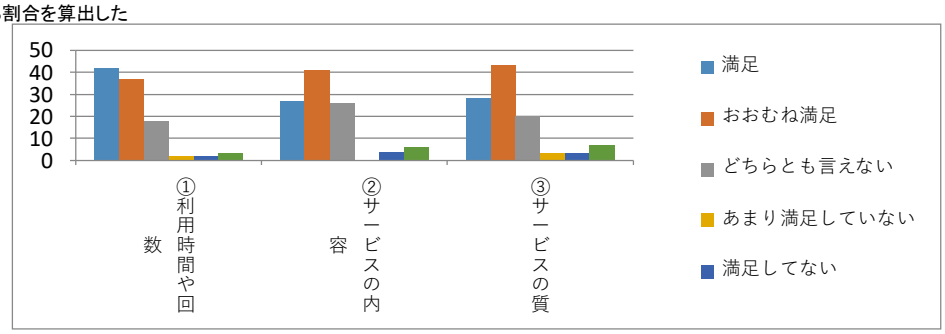
	人数	割合
利用している	104	40.5%
今後利用したい	72	28.0%
利用したくない	56	21.8%
未記入	25	9.7%
合計	257	100%



5-2　サービスに満足しているか

	サービスに満足しているか											
	満足	割合	おおむね満足	割合	どちらとも言えない	割合	あまり満足していない	割合	満足してない	割合	未記入	割合
①利用時間や回数	42	40.4%	37	35.6%	18	17.3%	2	1.9%	2	1.9%	3	2.9%
②サービスの内容	27	26.0%	41	39.4%	26	25.0%	0	0.0%	4	3.8%	6	5.8%
③サービスの質	28	26.9%	43	41.4%	20	19.2%	3	2.9%	3	2.9%	7	6.7%

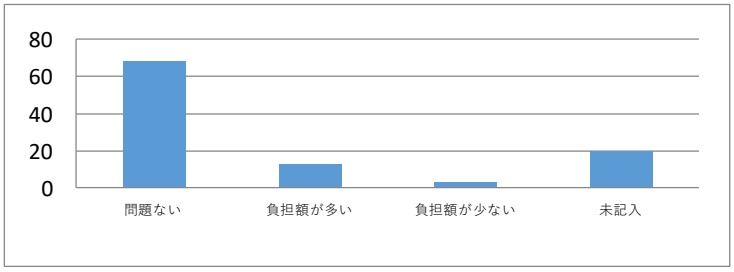
＊サービスを利用していると回答した104人から割合を算出した



5-3　サービスの利用者負担額について

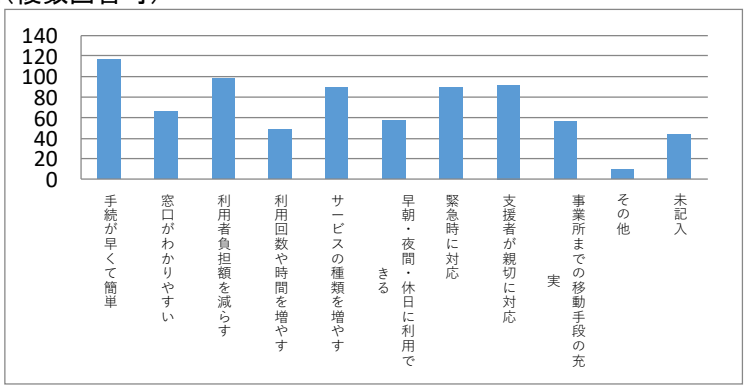
	人数	割合
問題ない	68	65.4%
負担額が多い	13	12.5%
負担額が少ない	3	2.9%
未記入	20	19.2%

＊サービスを利用していると回答した104人から割合を算出した



5-4　サービスを利用しやすくするために必要なこと（複数回答可）

	人数	割合
手続が早くて簡単	117	46%
窓口がわかりやすい	66	26%
利用者負担額を減らす	98	38%
利用回数や時間を増やす	49	19%
サービスの種類を増やす	89	35%
早朝・夜間・休日に利用できる	57	22%
緊急時に対応	89	35%
支援者が親切に対応	92	36%
事業所までの移動手段の充実	56	22%
その他	10	4%
未記入	43	17%



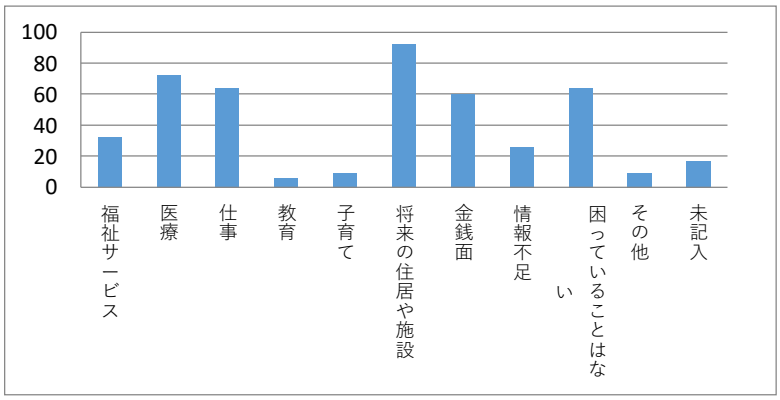
サービスの利用時間や回数、利用者負担額については、おおむね満足も含めると、８割以上の人が一定の理解をしているが、サービスの内容や質については、おおむね満足を含めても、７割程度の満足にとどまる状況にある。

また、サービスを利用しやすくするためには、「手続が早くて簡単」と回答した人が４６％、「利用者負担額を減らす」と回答した人が３８％と多かったが、「支援者が親切に対応」と回答した人が３６％、「サービスの種類を増やす」と「緊急時に対応」と回答した人が３５％と次に多い状況にあり、サービス利用の促進に当たっては、幅広い

６ 相談相手について

6-1 困っていること(複数回答可)

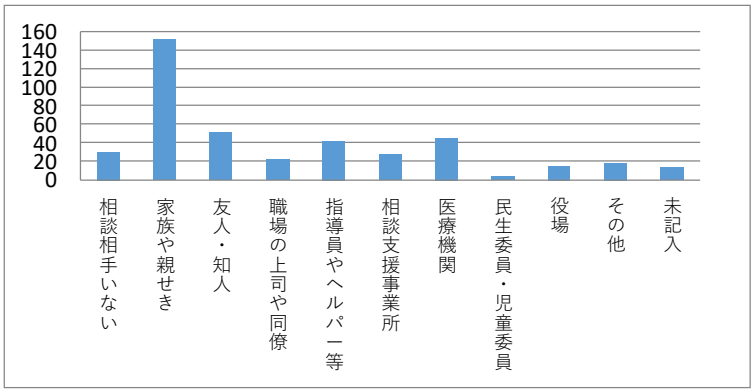
	人数	割合
福祉サービス	32	12.5%
医療	72	28.0%
仕事	64	24.9%
教育	6	2.3%
子育て	9	3.5%
将来の住居や施設	92	35.8%
金銭面	60	23.3%
情報不足	26	10.1%
困っていることはない	64	24.9%
その他	9	3.5%
未記入	17	6.6%



「将来の住居や施設」についての不安が３５.８％と最も多かった。次いで、「医療」が２８.０％、「仕事」が２４.９％、「金銭面」が　２３.３％と続いている。その他としては、「介護者の健康」「親子関係」などの回答があり、

6-2 相談相手(複数回答可)

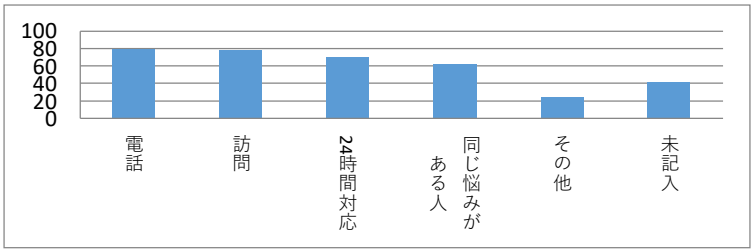
	人数	割合
相談相手いない	30	11.7%
家族や親せき	151	58.8%
友人･知人	51	19.8%
職場の上司や同僚	22	8.6%
指導員やヘルパー等	42	16.3%
相談支援事業所	27	10.5%
医療機関	45	17.5%
民生委員･児童委員	4	1.6%
役場	15	5.8%
その他	18	7.0%
未記入	13	5.1%



普段の相談相手は、「家族や親せき」次いで「友人・知人」の順で前回アンケートと割合も大きくは変わらなかった。また、「相談相手がいない」と回答している人が１１.７％いるが、こちらは前回と比較し約２倍となった。

6-3 相談窓口(複数回答可)

	人数	割合
電話	79	30.7%
訪問	77	30.0%
24時間対応	70	27.2%
同じ悩みがある人	62	24.1%
その他	24	9.3%
未記入	42	16.3%

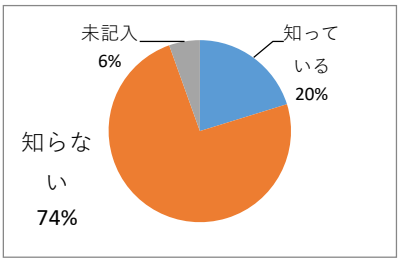


希望する相談の形態としては、電話３０.７％、訪問３０.０％と大きな差は見られなかった。同じ悩みを持つ人による相談も２４.１％いた。その他としては、「土日や祝日でも対応できる相談窓口」「本人が行きやすく話しやすい相談窓口」「インターネットによる相談窓口」といった意見が挙げられた。

6-4 基幹相談支援センター

	人数	割合
知っている	52	20.2%
知らない	191	74.3%
未記入	14	5.5%
合計	257	100.0%

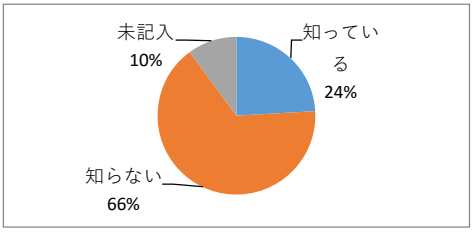
基幹相談支援センターを「知らない」と回答した人は７４.３％で、前回の７９.３％と比較すると、若干減少となったが、周知方法等を含め、更に認知度を高め



6-5　相談支援事業所

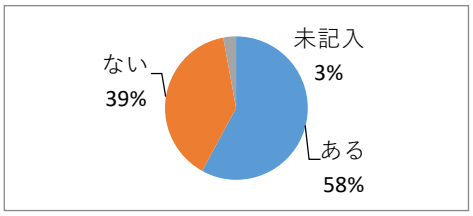
	人数	割合
知っている	62	24.1%
知らない	169	65.8%
未記入	26	10.1%
合計	257	100.0%

相談支援事業所も「知らない」と回答した人が６５．８％で、前回の６８．１％よりも、若干は減少したが、依然として、相談機関の周



6-6　相談経験

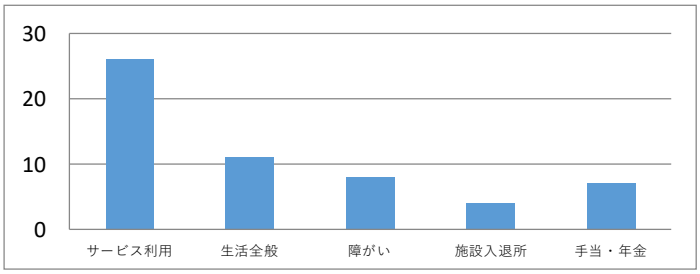
	人数	割合
ある	40	58.0%
ない	27	39.1%
未記入	2	2.9%
合計	69	100.0%



6-7　相談内容(複数回答可)

	人数	割合
サービス利用	26	65.0%
生活全般	11	27.5%
障がい	8	20.0%
施設入退所	4	10.0%
手当･年金	7	17.5%
その他	3	7.5%

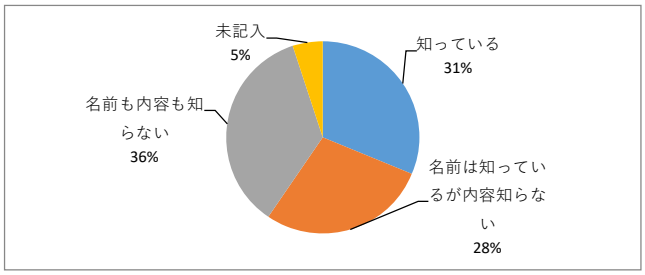
＊相談支援事業所への相談経験があると回答した40人の回答から割合を算出した。



7　権利擁護について

7-1　成年後見制度

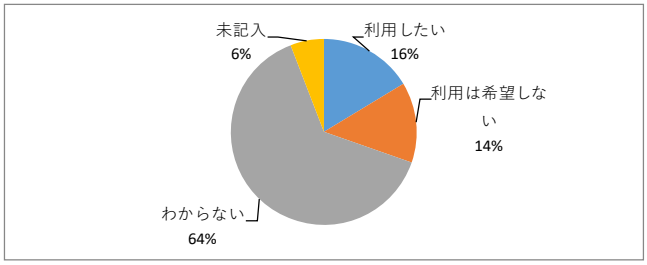
	人数	割合
知っている	80	31.1%
名前は知っているが内容知らない	73	28.4%
名前も内容も知らない	91	35.4%
未記入	13	5.1%
合計	257	100.0%



7-2　成年後見制度の利用

	人数	割合
利用したい	42	16.4%
利用は希望しない	36	14.0%
わからない	164	63.8%
未記入	15	5.8%
合計	257	100.0%

＊1人はすでに利用している。

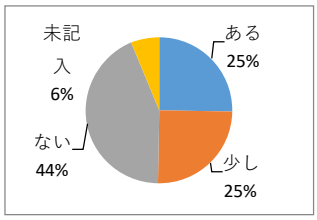


成年後見制度を「名前も内容も知っている」と回答したのは３１.１％で前回（２６.７％）に比べ微増となった。「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが内容は知らない」を合わせると５９.５％となり、前回（６３％）に比べ微減している。

成年後見制度の利用については、約６４％の人が「わからない」と答えており、意思決定に支援が必要な人が制度利

7-3　嫌な思いをしたこと

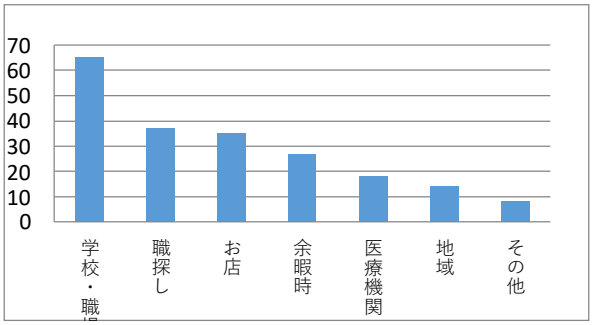
	人数	割合
ある	65	25.3%
少し	64	24.9%
ない	112	43.6%
未記入	16	6.2%
合計	257	100.0%



7-4　場所(複数回答可)

	人数	割合
学校･職場	65	50.4%
職探し	37	28.7%
お店	35	27.1%
余暇時	27	20.9%
医療機関	18	14.0%
地域	14	10.9%
その他	8	6.2%

＊嫌な思いをしたことがある･少しあると回答した129人から割合を算出した。

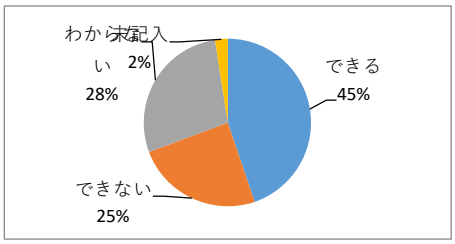


障がいがあることでの嫌な経験については、約半数の人が「ある」「少しある」と回答している。嫌な思いをした場所は「学校・職場」「職探し」「お店」「余暇時」の順になっている。その他としては、「公共機関」などの回答があっ

8　災害時の避難等について

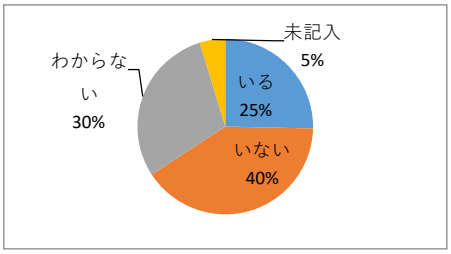
8-1　一人で避難

	人数	割合
できる	115	44.8%
できない	63	24.5%
わからない	73	28.4%
未記入	6	2.3%
合計	257	100.0%



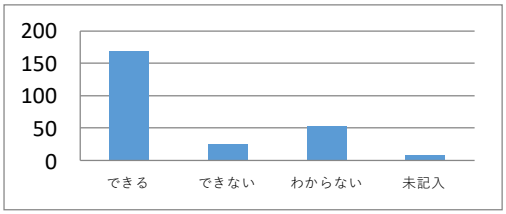
8-2　近所に助けてくれる人

	人数	割合
いる	65	25.3%
いない	104	40.4%
わからない	76	29.6%
未記入	12	4.7%
合計	257	100.0%



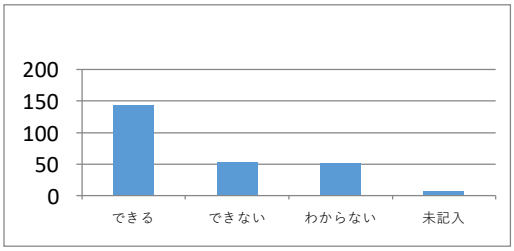
8-3　災害時に家族と連絡が取れるか

	人数	割合
できる	169	65.8%
できない	26	10.1%
わからない	54	21.0%
未記入	8	3.1%
合計	257	100.0%



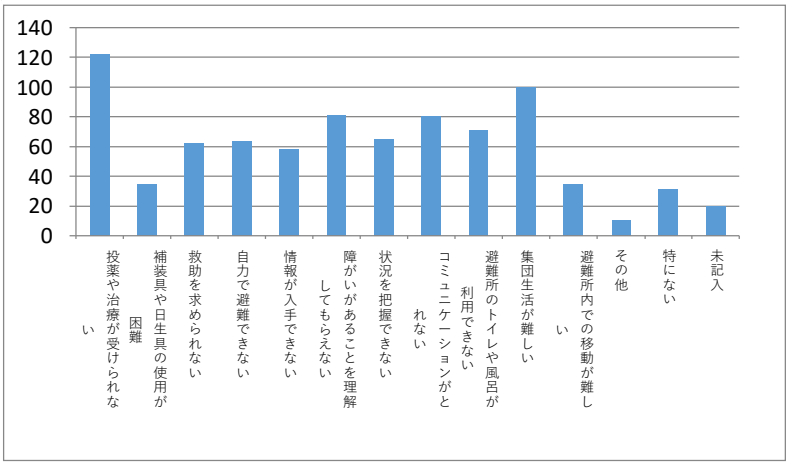
8-4　自分で通報ができるか

	人数	割合
できる	144	56.0%
できない	54	21.0%
わからない	51	19.9%
未記入	8	3.1%
合計	257	100.0%



8-5 災害時に困ることは何ですか（複数回答可）

	人数	割合
投薬や治療が受けられない	122	47%
補装具や日生具の使用が困難	35	14%
救助を求められない	62	24%
自力で避難できない	64	25%
情報が入手できない	58	23%
障がいがあることを理解してもらえない	81	32%
状況を把握できない	65	25%
コミュニケーションがとれない	80	31%
避難所のトイレや風呂が利用できない	71	28%
集団生活が難しい	100	39%
避難所内での移動が難しい	35	14%
その他	10	4%
特にない	31	12%
未記入	20	8%



8-6　避難行動要支援者名簿を知っていますか

	知っている	知らない	未記入
人数	62	174	21

8-7　自分の情報を避難行動要支援者名簿に登録していますか

	登録している	登録していない	分からない	未記入
人数	24	124	86	23

8-8　避難行動要支援者名簿に登録したいか

	登録したい	必要ない	登録したくない	未記入
人数	53	93	38	26

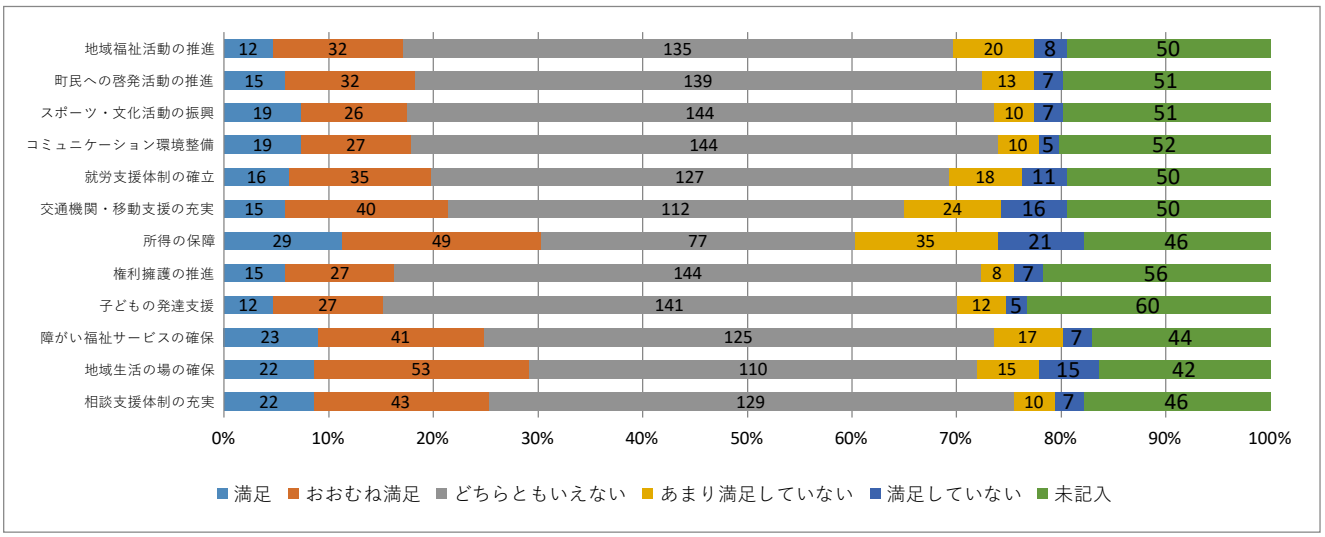
8-1～8-4の項目について、全てできないと回答した人が７人おり、また、8-5でも自力で避難できないと回答した人が６４人いることから、個別避難計画の作成推進が必要となっている。

また、災害時に困ることとして「投薬・治療が受けられない」が最も多く、次いで「集団生活が難しい」「障がいがあることを理解してもらえない」

９　町の取り組みについて

9-1　町が行っている取り組みに満足しているか

	満足	おおむね満足	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	未記入
相談支援体制の充実	22	43	129	10	7	46
地域生活の場の確保	22	53	110	15	15	42
障がい福祉サービスの確保	23	41	125	17	7	44
子どもの発達支援	12	27	141	12	5	60
権利擁護の推進	15	27	144	8	7	56
所得の保障	29	49	77	35	21	46
交通機関･移動支援の充実	15	40	112	24	16	50
就労支援体制の確立	16	35	127	18	11	50
コミュニケーション環境整備	19	27	144	10	5	52
スポーツ･文化活動の振興	19	26	144	10	7	51
町民への啓発活動の推進	15	32	139	13	7	51
地域福祉活動の推進	12	32	135	20	8	50

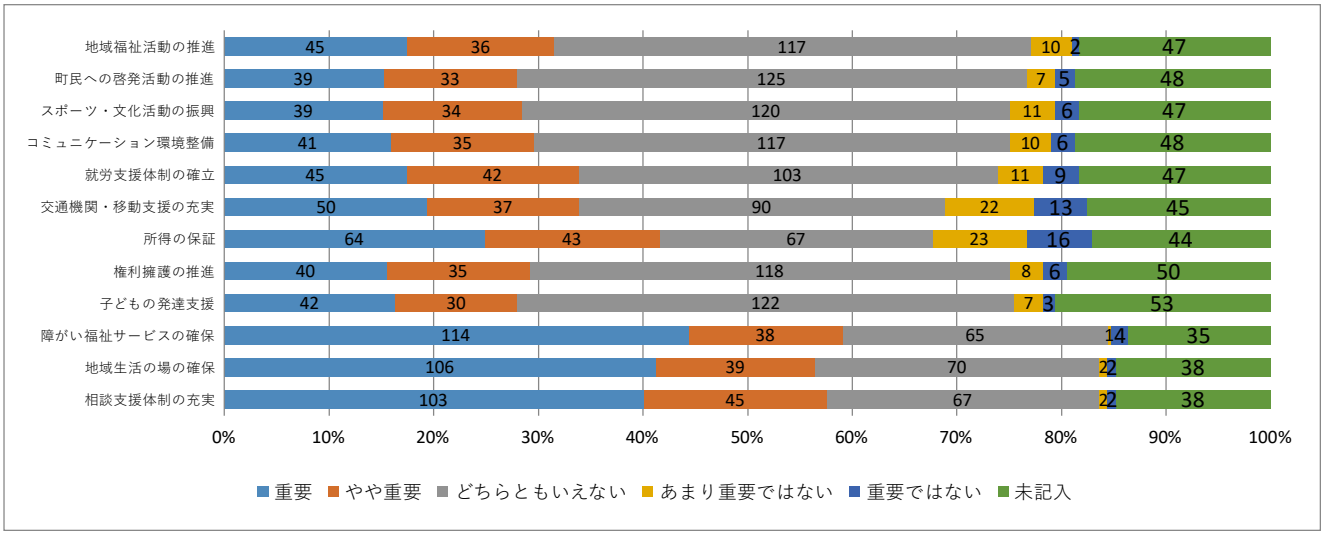


満足とおおむね満足を合計した割合が２５％を超えた項目は、「所得の保障」「地域生活の場の確保」「相談支援体制の充実」「障がい福祉サービスの確保」の４項目あるが、その他の項目は、ほぼ２０％を切る状況であり、総じて満足度が低く「どちらともいえない」と考えている人がほとんどの状況である。

また、満足していないとあまり満足していないを合計した割合で、一番高い項目が、前回アンケートと変わらず満足している人の割合も一番高い「所得の保障」であることから、満足している人と満足していない人の差が最も大き

9-2　町が行っている取り組みで今後どれが重要になってくると思うか

	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	未記入
相談支援体制の充実	103	45	67	2	2	38
地域生活の場の確保	106	39	70	2	2	38
障がい福祉サービスの確保	114	38	65	1	4	35
子どもの発達支援	42	30	122	7	3	53
権利擁護の推進	40	35	118	8	6	50
所得の保証	64	43	67	23	16	44
交通機関･移動支援の充実	50	37	90	22	13	45
就労支援体制の確立	45	42	103	11	9	47
コミュニケーション環境整備	41	35	117	10	6	48
スポーツ･文化活動の振興	39	34	120	11	6	47
町民への啓発活動の推進	39	33	125	7	5	48
地域福祉活動の推進	45	36	117	10	2	47



重要とやや重要を合計した割合が５０％を超えた項目は、「障がい福祉サービスの確保」「相談支援体制の充実」「地域生活の場の確保」の３項目であり、次に「所得の保証」の項目が４０％を超えたが、これらを除くほぼ全ての項目が３０％程度の割合にある。9-1の満足度の結果を踏まえても、更に各種施策を総合的に実施しながら、内容を充実させていくための検討を行い、少しずつ満足度を高めていく必要がある。

No	コロナで困ったこと(18歳以上)
1	個人的にはあまりないです
2	特になし
3	服用している薬から(免疫抑制剤)感染しやすいため日々の注意は大変であった。また、ワクチン接種も回数が5回となりその事による体に対する影響も心配される。
4	札幌へ通院したあと管内の医療機関を受診すると警戒されたり別室に隔離されたりしたのが不便だった。服用している薬の影響で体温が高くなり、お店や病院の入り口の検査でアラームが鳴ったり、もともと平熱が高いことも説明しなければならなかったのが大変で困った。
5	マスク、そこだけ日焼けしなくて白に。
6	ないです。
7	部屋にこもりきりでストレスがすごい
8	出かける回数が減った
9	でかけられなたった
10	行動が制限されて大変だった
11	外出がへった。ワクチン5回したけど副反応が強くいやになった。人と合うのが怖かった。一人暮らしなのでコロナになったらどうしようと不安です。
12	特になし
13	行動制限により交流の場が激減しとてもさみしい思いをしました。
14	居室の中でポータズルトイレは、たいへんでした
15	買物、回りの感せん状況がわからないこと
16	仕事が少なくなった。収入が減った。
17	投薬に困ったが、薬局が自宅まで配達してくれた
18	コロナに感染した時、息苦しくなり救急車を呼んだのですが、保健所からの指示を(受け入れ先の病院)が決まるまで約1時間近く救急車の中で待機させられたのが、かなり厳しいと思いました。
19	日々の消毒やワクチンの接種のタイミング
20	なし
21	体調が悪く入院したこと
22	食事がかみ皿で大変だった。行事がなくてつまらなかった。
23	コロナの流行で人とのコミュニケーションの機会が減少したこと。
24	熱が出て大変だった
25	りょこうやがいしゅつができない　はやくもとのじょうたいにもどってほしい
26	マスクを付けなければならないことで声掛けられていることが全く気付かない。そのため無視をされたという誤解が生じてしまい現在も大変な思いをしてる。
27	とくになし
28	なし
29	サービスが受けられなくなった時(入浴)　外出しづらい
30	母親の入院・手術の時など、色々と制限があり、一緒にいてあげたりできなかったのが悲しかったし、残念でした。
31	卒業しましたが、高等養護学校のいろいろなことが制限されました。
32	入院時の付き添い制限 入院時の重度訪問ヘルパーが利用できず 家族1名による付添負担が大きく身体的や精神的負担が大きい。
33	倦怠感などのなし後遺症に悩まされた
34	所得が障害年金だけになり、生活がかなり厳しい。
35	出かける意欲がわかず、仕事のない日はひきこもることがほとんどになった。 重症化リスクがあるため、親しい人も含めて、人と会うのが嫌になった。
36	コロナウイルスに感染して、車が無いと、病院が診てくれないのには、困りました。
37	特にありません。
38	慢性腎不全の持病を持っていて、人工透析をしてる為、病院に隔離された事。
39	特になし
40	グループホームで一人がかんせんしてしまい。約1週間ほど仕事にも行けず、外にも出れなかったことです。
41	外出ができなかった。入浴ができなかった。
42	トイレを、ヘヤでして、不自由だった。
43	外に出られなかった。
44	薬を早く完成させて欲しい
45	自分がコロナにかかりつらかった。
46	特にない。
47	特にない
48	買物や旅行に気軽に行けなくなって、気分転換の機会が少なくなった。施設の中でコロナ感染者が出た時、好きなタイミングで洗濯や入浴っを行うことが難しくなって大変だった。人と会話するのにもマスクをつけなけらばならなかったのが嫌だった。
49	外出できなかた

No	コロナで困ったこと(18歳以上)
50	職場で感染者が出たときは、抗体検査をし、仕事も数日間休みだったので、この先不安でした。(自分は陰性で、感染者の方も数日で復帰されました)
51	特になし！
52	マスクの着用や3月から着用が任意になったこと。
53	福祉施設の作業が減って、部署が減ったので作業や時間を選べない。
54	特になし
55	収入の減少
56	とにかく外出できずでした。マスクもサチュレーションが下がるので大変でした。
57	あんまりがいつがでなかたことです。
58	外出できなかった事。ﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙﾄｲﾚを使用した際、ニオイが気になる
59	なし
60	仕事が減った
61	早くふつうの生活にもどれたらうれしいです！
62	外食ができないのが困る
63	かいものにいけない
64	ワクチン接種場所がきびしかった。車イス利用なのでバリアフリーの充実していない接種場所しか予約出来ず困りました。
65	コロナになって、かくりされて、入浴などできなかった事が大変だった。
66	2週間仕事に行けなかったこと
67	周囲と意見が合わず、どこへ行っても孤独な感じがする。あまりにも偏った常識にもうついていけない。
68	発熱外来を2回受診しました。いずれもコロナ陰性で安心しました。
69	体が弱いので「コロナウイルス」になったら困るので気を付けていました。
70	とくになし
71	ワクチンの接種は強制ではないのに、まだ接種していないでいると「まだなの？接種した方が良いよ」と言われたり、そういった雰囲気があったことが困ったことでした。
72	各集まりや行事があるとき、ウイルスを気にかけながら出かけた事。施設が使用中止になると安心して休めるのですが。外出をひかえた事で、今だ、コロナに、かかってない。
73	アクリル板の設置で聞きとれない。
74	コロナの為精神的にうつになってしまう人も出てきてしまい、親子で不安定になっていて、生活が大変な方もいる。
75	特になし
76	マスクをつけること　でかけるばしょうがない
77	リモートワークにならず、感染するかもしれないと思いながら働いている
78	人数が増えていく数字で気持ちの面で不安が大きくなり、外出にしんちょうに動かなければならなかった
79	重症化リスクが高かったが、体調が悪くなってきても発熱外来の予約が一杯でとれず、3日後ようやく受診できたが肺炎と診断され、9日間入院した。もっと早くにかかりたい。自分のようにスマホ操作が難しい人間にはネットからの予約は自力ではできない。何とかならないだろうか。今回は家族にやってもらったが、家族もコロナで高熱が出ている中、ある病院の予約は患者IDを入れても住所・氏名に始まり家族まで入力が必要で大変だった。道の陽性者登録も大変だった。つらい体調の中でやる事が多すぎると思う。
80	注射をするときにパニックになる為、ワクチン接種が受けられない。マスクをしなければならない場所等の理解が困難な為、困った時があった。コロナに罹患してしまい、自宅療養が大変だった。
81	H5.1.30～コロナ観戦！病院が対応してもらえなくて困った！
82	乳がんで入院していた時、新型コロナの流行で面会ができなくて家族に会えなかった事。生まれて初めての手術や右乳房を失くす不安に押し潰されて泣きました。
83	通院している病院や買い物には友人が連れて行ってくれた。コロナのせいで余計外出するのが感染したら怖いとほとんど引きこもっていた
84	ハイリスク施設ということで、通所するにあたっての条件が厳しかった。(管外の方と接触した場合利用停止になってしまうなど)5類に移行してからも、継続するような感じなので、少し困ってしまう。
85	マスク代。重症化リスクのある人には費用の助成が必要である
86	マスクでメガネがくもるとき
87	家族で住ごせない
88	通っている病院でコロナ感染者が出て閉院し、薬がもらえなかった(クラスター)
89	マスクがわずらわしい
90	入所中
91	外出ができないこと。
92	特になし
93	入所中

No	自由記載の内容(18歳以上)
1	障がい者の住みよい町すくり
2	GH,ショートステイを増やしてほしいです。利用者は福祉サービスを選ぶ立場になく、施設に障害や特性についてお願いすると「やめてもらってもかまわない」とサービスの質にギモンを感じます。親が近くにいると子供の変化に気が付くことはできるが、親が亡くなった後がとても不安です。現在利用している施設は本人が楽しんで行く様子はなく、通所してからおこりっぽっく、今までしなかったような物を壊す、あばれるなどの行動が出ています。生きがいになるような安心して過ごせる場所を生活の場として見つけてあげたいと願っています。町内で近い将来入所も考えるが、職員の対応を見ていると虐待などまではいかなくても、対応の悪さが心配です。
3	急なときでも一時的にあずかってくれる所、泊まらせてくれる所があったらありがたいです。障がい者でもほいくえんみたく一時的に急に泊まれる所とか何時間か見てくれる所があったらよいと思います。急でももっと障がい者にやさしい町になってほしいです。
4	障害者手帳や自立支援の更新のタイミングをメール等で知らせてほしい。音更町で障害者が利用できる相談用のウェブ掲示板を設置してほしい。
5	相談して冷たくされるのが怖い。だから相談したくても相談するまでにたどりつかない。
6	面会してくれるとうれしいです。
7	いつも色々とありがとうございます。自分の事ながら今後一年々年をとってゆきますし、先のことは分かりませんが例にありますように、その都度カベにぶつかりましたら相談にのって頂けましたらありがたく大変助かります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
8	選択肢をとにかく多く作って欲しい。
9	特にありません。
10	今のところありません
11	足が不自由で年齢と共に歩くのもしんどい時があります。まだ車の運転ができますが、車いすマークや思いやり駐車場の利用はどのように申請したらいいかわかりません。ステッカーなどの申請はありますか？私は見た目が健常者とほとんど変わりません。どうしたらいいのでしょう。
12	以前町内の相談支援事業所に通院や買い物の移動介助・付き添いについて相談したが、移動介助・付き添いのみ行ってくれる事業所は多分ないと言われた。今は近所に住む義両親や夫が付き添いをしてくれているが、義両親は高齢で夫は基本平日は休みがない為第3者に頼みたかった。夫は他人を家に入れたくないとホームヘルパーや訪問看護を利用する予定がない。ホームヘルパー等を利用しなくても、外出の付き添い・介助をしてもらえたら活動の幅が広がり良いと思う。又、障がい福祉サービスを利用したくても手続きが難しそうに感じる。そして民間だけでなく、行政の相談窓口も土日祝や夜間（せめてPM8時くらいまで）に行って下さると相談しやすい。
13	現在、通院通所交通費助成を受けているが、申請に病院の通院証明書が必要となる。証明書を出してもらうには1通1700円かかる。4000円の助成を受けるためにこの費用がかかる意味が判らない。なぜ、JRの領収書を出しているのに証明書が必要なのか、できれば「JR領収書+病院の領収書」にしてほしい。そうなれば証明書の費用と出してもらう時間がいらなくなって大変助かります。今まで何度か窓口の方には言っていますが、認められないのでダメかもしれませんが、ダメなら理由が知りたいです。
14	就労支援施設への交通費を支給してほしい
15	いりょう費じょせい金UP
16	ガンバって下さい！！
17	障がい者福祉サービスが簡単に出来るようになってほしい
18	・精神の病を持っていると言うとまだ怖がられたり、偏見をもたれることがあり、さけられることがある。・病気があっても安心して働ける仕事、会社が増えてほしい。
19	特になし
20	障害者の能力に応じて実際に社会に進出させたりそのサポートをした方が良いと思います。障害者が持つ能力は個々人で差があるのでそれぞれに応じたサポートが必要です。
21	有料道路の補助、身体障害者や療育手帳の保有者はあるのに精神がないのは疑問です。国の方針とは思いますが、音更町独自で予算を確保して是非お願いしたいと考えます。再度のお願いです！！
22	相談したとて問題が解決するとは思えない。
23	低所得者や制度について、こちらは知らないのにそれらを周知しきれていない。制度を知らないとなにも受けられない。
24	上に同じ。
25	ありません。
26	音更町に筆記通訳者はいますか？
27	今後自分でできることが少なくなった時に気軽に相談できたり、サービスの利用ができたりできるといいなと思っています。
28	家賃が高いので早く町営住宅に引っ越したい。周りの人に無職であることでうしろめたさを感じている。
29	各申請書類記入や回数を少なくしてほしい。ポスト投函が大変です。車の運転出来ない人にタクシーの割引券がほしい。この封筒が小さい。いれずらい。
30	障害者を持つ親に対するサポートも念頭に置いて障害福祉サービスの取り組みを拡充されたい。
31	8-5が一番大事になってくるので、準備、設置、お知らせをして欲しい。安心したい。
32	音更町職員の皆さんは明るく、親切で体育かんもプールも全一部いつも素晴らしいと思っています（役場も木野支所もベリーグットです）今後も大変でしょうが、お世話になると思います。もっともっと音更町がやさしくのびやかな町になるようにと応援しています。ここにいて幸せだニャー。うちのネコも幸せ。すてきなとこです。
33	車イスのためかいごタクシをふやしてほしい
34	障がい事に情報を共有したい
35	できるだけ自分で生活できるようにがんばって行きたい。
36	特になし

No	自由記載の内容(18歳以上)
37	なし
38	難病患者で認定されていない方を対象に通院やリハビリに対しての交通費の助成等を希望する。
39	耳がきこえないことをもう少し学習してほしい。きこえないだけではなく、文章を読んでもわからない人がいる。言葉の意味がわからない人もいる。耳がきこえない障害はとても周りの人からわかってもらいにくいので一般の方が手話を学ぶ講座や体験を設けてほしい。きこえない人が一般の方と同じように急な参加もできるように急な手話通訳派遣があればどんなに助かることか。私は受けてみたい講座があるのですが、手話通訳がないと聞けないのでスムーズなバックアップすることで好きなことを好きな時に参加して豊かな人生にしたい。
40	音更町保健福祉部福祉課様にはいつもお世話になりありがとうございます。週1回の電話での声掛け、月1回の自宅訪問などで悩みなど聞いていただけると幸いです。
41	アンケートがむずかしい。音更町図書館の車イス専用駐車場からの段差があって車イスを乗ったまま通れない。転びそうになって困ってる。車イス用のトイレが引き戸で重くて一人じゃ使えない。
42	相談できる場やカウンセリングのできる所がほしい
43	なし
44	介護している家族は休めません。
45	やはり、健康な人に比べ病院に行く機会も多く出費も多いです。 身障者手帳で、色々とサービスなどはありますが、病院でかかる負担が少しでも充実してくれると助かります。 1割とは言いませんが、2割負担ぐらいになると嬉しいです。
46	期待すること自体考えていない。行政が立場上綺麗事を並べても結局は障害者自身が自分で道を開いていくしかないのが現実である。障害年金と車の税金免除以外ありがたく思ったものや助かるものは何もない。重度の障害の方は恩恵を受けられるのでしょうが。
47	交通費の助成があるのは、いいが、1年分の申請書類はやめてほしい。3ヶ月ごとに戻して欲しい
48	ちゃっぽの入場料を無料にしていただきありがとうございます。 健康のためにしょっちゅう利用させていただいています。
49	音更町役場の皆さんには大変親切にしていただいてます。 自宅での介護で外出する時間を取るのが難しい現状です。 申請手続きなどこの様にWEB上で行う事が出来ると助かります。 また介護には費用が想像以上にかかり、介護状態に応じて費用負担の補助がもっとあると助かります。
50	なし
51	ここに書くべきではないかもしれませんが、バス料金について、回数券も障害者運賃になる会社と、重複値引になるからと回数券は普通料金しか受け付けない会社があります。回数券が普通料金のバス会社の方が自分としては便利なので利用しています。
52	「国民健康保険税の免除」や「通院の為の車両の維持費(車検代)の補助」を検討して欲しい。
53	役場のスロープが急で長い。障害者手続きは家に来て欲しい。介護認定されてないので福祉用具をレンタル出来ない。病院に介助者を付けたい。
54	取り組みの内容などの情報が届いていない
55	精神障害を抱えながら、健常な人と同じかそれ以上の仕事をするのがとてもつらく感じる。精神疾患についての啓発をもっと強く推進してほしい。
56	ありがとうございます
57	障害者でも働ける場所の提供と、働くことに関しての相談できる所が欲しいです。
58	会社勤めだと役所に行って、話をしたくても時間が合わず、知りたいこともインターネットでしか調べれない
59	一日置きに、病院に通院してるので昔は1.8kmから通勤手当てが出たの、今の2kmからじゃ無くて元に戻して欲しい。
60	特になし
61	特にありません。
62	車両等の騒音をなんとかして欲しい。
63	なし。
64	なのもない。
65	アンケートはもう少し簡単な分かりやすいものがあると良いと思った。
66	自分一人で高齢者の両親の面倒を見ています。いつまでも面倒を見てあげたいですが、先のことを考えると何かと不安です。気軽に相談できる場があれば教えて戴ければと思います。
67	特になし！
68	特に有りません。
69	体けんを聞いたり、相談したり出来る場所が欲しい。
70	障害があることによって運転ができません。交通手段が少ない事で移動や職場へ通う際に困っています。
71	医療費。
72	ﾊﾞｽがもうすこしふやしてほしです。
73	なし
74	なし
75	現在は主人と二人で助け合いながら何とか生活していますが、世間では病気の人の事件がおきるなどして、他人事とは思えません。私も将来の事を考えると、病気が重くなっていったりしないかなど、考えると大変心配です。出来るだけ、色々な事を相談したいと思うので身近にそういう場所が沢山在って欲しいと思います。
76	透析の交通費が出なくなった(2km未満)
77	電動車いすを手続きが簡単に安価で購入したい
78	年末・年始にバスの本数がへるため、出勤しにくくなります。音更町で減った便をカバーできるようにしてほしい。

No	自由記載の内容(18歳以上)
79	福祉サービスであることは理解しているがB型事業所等の工賃があまりにも少ないのではないだろうかと思う。コロナウイルスの対策をもう少し見直して欲しい。(アルコール消毒やマスクは万能ではない。長期的なリスクを考えて欲しい)
80	就労を希望していますが、自分の意識で頑張っていきます。
81	診断書は病院等で良いのですが日常生活等は「障がい者介護」している人にも書類書いた方がわかりやすいと思います。ほとんどの病院は「予約」なので書類を直してもらわなきやならない所があるととてもたいへんですし締切りに間に合わなくなります。色々とお世話になりほんとうに申し訳なく思っています。今度もよろしくお願い致します。
82	芽室町のように役場で相談支援事業所を行ってほしい。ケアマネをふやしてほしい
83	職場体験がもっとできるようになり、その体験から就職につながったら…と思います。
84	聴覚に対することが不十分　故意にしている様
85	国は重度の子供・人達の放課後支援を推進しているが全く動いていない為、高齢の親がいる場合、親が動けなくなる為、子供の生活も一緒に小さくなり活動が出来なくなっている。その為の移動支援をやって頂ければスポーツや他の活動も出来、友達と休みの日に会って過ごす事が出来るように支援をしてほしい
86	家族は行ってほしいのに本人が行きたがらない家庭もあることをもっと知ってほしい。大丈夫ですとしか言えないが、全く大丈夫じゃない
87	しゅうろうしえんじぎょうしをふやしてほしい　こうつうきかん(ﾊﾞｽ)ふやしてほしい
88	金銭的な支援を増やしてほしい。健常者で生活が苦しいなら障害者はもっと苦しい。
89	自治体と医療機関の情報のやり取りをもっと密なものにしてほしいです　何か手続きしようとしても、患者本人が病院に行ったり役場に行ったり、同じ内容の書類を見せたり書いたり大変です。ありがたい制度はたくさんあるようですが、申請に手間がかかりすぎなような気がします。
90	障がいの人でも仕事が出来る場所　仕事が決められる
91	頚髄損傷で、今後も継続的なリハビリが必要になるが、なかなかやってもらえる所が少ないと感じる。脳血管等での障害ならリハビリはあるが、脊髄損傷者へのリハビリは少ない。外来リハ、訪問リハ、どちらでもよいので充実してほしい。町の障害福祉課は、相談や申請に行く度、ていねいな説明や対応をしていただき有難うございます。全ての物価が上がる中、日常生活用品も値上がりしています。助成していただき大変助かています。
92	親から離れても安心して、生活できる場所が欲しい。
93	妻はパーキンソン病なのですが。町にするパーキンソン病の集いみたいな事があれば出てみたいです。病状や向き合い方などの話もしてみたいです。
94	「こもりびと」の取り組みが良かったので、障がいについての集いがあると助かります。又、医療(がんなど)に関する相談窓口や集いがあると助かります。
95	手帳では身体障害者4級なのだが、ほとんど左手が使えなかったり、腰痛の為、部屋のそうじが出来なかったりと困っていることもある。うつ病で通院しているが、外出して人に会うのがいやで、外出できないなど、コミュニケーションが他人と上手にとれなくてそれも困っている。
96	将来的に親元を離れて生活できる場があるのか、支援を継続的に提供してくれる人材が確保されているのかとても不安。
97	人のもんだいが多いにあると思う。人にたいして人がすくないと思う。福祉の場において、福祉をりかいする思い
98	事業所への交通費を全額免除してほしい。負担が大きいです。
99	特になし